

# バレーボール

## ■公認バレーボール指導員

**養成目的** 地域スポーツクラブ（スポーツ少年団など）やサークルにおいて、初心者や子どもたちを対象にバレーボールの基礎的実技指導にあたる指導者を養成する。

**役割** 発育発達期の子どもたちに対し、競技者育成プログラムに則り、様々な運動経験と遊びを通じた身体づくりと動きづくりを主眼においた指導にあたる。

**受講条件** 受講年度の4月1日現在満18歳以上で、スポーツクラブ等においてバレーボールの指導にあたっている者。

又はこれから指導者になろうとする者。

**カリキュラム** 共通科目 35h（共通Ⅰ） 専門科目 40h

**受講料** 共通科目 19,800円 専門科目 15,120円

**登録料(4年間)** 10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

**更新のための義務研修** 資格有効期限の6か月前までに、最低1回は、日本バレーボール協会が定める研修又は日本体育協会（都道府県体育協会が実施する研修会を含む）が実施する（認める）研修を受けなければならない。

**担当委員会** 日本バレーボール協会 指導普及委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合講習	その他	計
1 種目の特性に応じた基礎理論	① 日本のバレーボールの現状と今後のバレーボールの展開	0h	2h	2h
	② 日本バレーボールの歴史	2h	0h	2h
	③ 初心者導入法	2h	0h	2h
	④ バレーボールの技術論（攻撃・守備）	2h	0h	2h
	⑤ 6・9人制のルール	2h	0h	2h
	⑥ ビーチバレーボールの指導法と大会運営	2h	0h	2h
	計	10h	2h	12h
2 実技	① 体力測定実習	0h	2h	2h
	② バレーボールに必要な体力トレーニング	2h	0h	2h
	③ 基本フォーメーション（6・9人制）	4h	0h	4h
	④ 基本技術実習（攻撃）	3h	0h	3h
	⑤ 基本技術実習（守備）	3h	0h	3h
	⑥ 練習における管理及び組織化	0h	2h	2h
	⑦ 救急法実習	2h	0h	2h
	⑧ マッサージ実習	0h	2h	2h
計	14h	6h	20h	
3 指導実習	① ウォーミングアップとクーリングダウン実習	1h	0h	1h
	② 基本技術（攻撃・守備）の指導実習	3h	0h	3h
	③ バレーボール及びソフトバレーの初心者指導実習	0h	2h	2h
	④ 練習計画の立案	2h	0h	2h
	計	6h	2h	8h
		30h	10h	40h

## 《専門科目における講習・試験の免除》

1. 日本バレーボール協会が主催した（定める）指導者講習会・研修会を受講した者。

(1) 平成30年度までに全国小学生指導者講習会（一次講習会）を修了した者は、次に挙げる指導員の専門科目の講習（10時間）を免除する。

1. 種目の特性に応じた基礎理論
- ③ 初心者導入法（集合2時間）
- ④ バレーボールの技術論（基本）（集合2時間）

3. 指導実習

- ① ウォーミングアップとクーリングダウン実習（集合1時間）
- ② 基本技術（守備・攻撃）の指導実習（集合3時間）
- ④ 練習計画の立案（集合2時間）

(2) 平成30年までに全国小学生指導者講習会（二次講習会）を終了した者は（1）に加え、次に挙げる指導員の専門科目の講習（18時間）を免除する。

1. 種目の特性に応じた基礎理論

② 日本バレーボールの歴史（集合2時間）

2. 実技

- ④ 基本技術実習（攻撃）（集合3時間）
- ⑤ 基本技術実習（守備）（集合3時間）

(3) 日本バレーボール協会公認審判員の資格を有する者は、指導員の専門科目のうち、「1. 種目の特性に応じた基礎理論」の「⑤ 6・9人制のルール（集合2時間）」を免除する。

2. その他

(1) 国際大会等で特に優秀な成績を収めた者で、コーチとしての資質、能力が優れていると認められた者

(2) 国外での資格取得者

(3) 日本バレーボール協会が認定した研修会を修了した者

上記の者については、日本体育協会と日本バレーボール協会指導普及委員会が内容・程度を審査の上、免除項目を決定する。